

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公開番号】特開 2019-194700 (P2019-194700A)

【公開日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-045

【出願番号】特願 2019-96871 (P2019-96871)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

H 0 1 L 21/8234 (2006.01)

H 0 1 L 27/06 (2006.01)

H 0 1 L 27/088 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1368

H 0 1 L 29/78 6 1 8 E

H 0 1 L 29/78 6 1 8 C

H 0 1 L 29/78 6 1 6 U

H 0 1 L 29/78 6 1 6 T

H 0 1 L 27/06 1 0 2 A

H 0 1 L 27/088 C

H 0 1 L 27/088 3 3 1 E

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 15 日 (2020.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゲート電極と、

前記ゲート電極上のゲート絶縁膜と、

前記ゲート絶縁膜上の第 1 の半導体膜と、

前記第 1 の半導体膜上に重なる第 2 の半導体膜と、

前記第 2 の半導体膜上に重なり、リンを有する第 3 の半導体膜と、

前記第 3 の半導体膜上に重なる第 1 の導電膜と、を有するトランジスタを有し、

前記第 1 の導電膜上の絶縁膜を有し、

前記絶縁膜上の第 1 の電極を有し、

前記絶縁膜を介して前記第 1 の電極と重なる第 1 の領域と、前記第 1 の導電膜下の第 2 の領域と、を有する第 2 の電極を有し、

前記第 1 の電極上及び前記第 2 の電極上の液晶を有し、

前記第 1 の電極と前記第 2 の電極との間の電界によって、前記液晶の配向が制御され、

前記第 1 の導電膜は、ソース配線又はドレイン配線としての機能を有し、

前記第 3 の半導体膜の端部は、前記第 1 の導電膜の端部の外側に位置する液晶表示装置

°

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記絶縁膜及び前記第 1 の電極と接する配向膜を有する液晶表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、

前記第 1 の電極は、スリットが設けられている液晶表示装置。